

講演会「災害に備える支え合いのチカラ ご近所力で防災を」 実施報告

1 日時

平成30年11月8日（木）

2 場所

流山市文化会館 市民会館ホール

3 講師

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授
鍵屋 一 氏

4 参加人数

一般市民、自治会関係者、自主防災組織リーダー、民生委員・児童委員、
福祉専門職 など 約200名

5 講演会概要

講演会「災害に備える支え合いのチカラ
ご近所力で防災を」（平成30年11月8日）

地域福祉と地域防災を考える機会として、
流山市文化会館で講演会「災害に備える支え
合いのチカラ ご近所力で防災を」が開催さ
れました。

講師には跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵屋 一 氏をお招きし、一般
市民の方をはじめ、自治会関係者、自主防災組
織リーダー、民生委員・児童委員、福祉専門職
の方など、約200名が参加されました。





講演に先立って、視覚障害と聴覚障害を抱える方より、災害時に必要とする支援について説明がありました。

手話通訳も交えながら、「障害があると、災害が発生してもすぐに気づけない、必要な情報を得られないといった不安があります。周囲の方が声を掛けたり、避難所の中を案内してもらえると安心できます」といった支援方法が紹介されました。

※視覚・聴覚障害以外の障害に関する支援については、下記リンクより、ハンドブックをご覧ください。

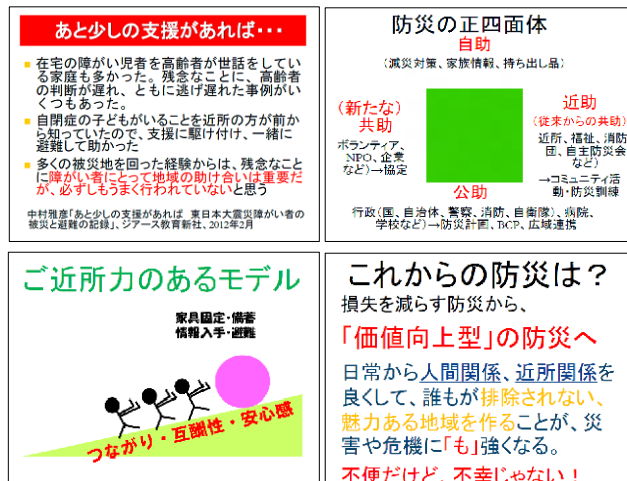
【<http://www.city.nagareyama.chiba.jp/life/1000974/1001049/1001052.html>】

講師の鍵屋先生からは、「これまでの災害では、高齢者・障害者の死亡率が高く、「あと少しの支援があれば」防ぐことが出来た被害もありました。

また、高齢化やご近所づきあいが希薄化している近年、人や地域のつながり＝ご近所力の重要性が、災害が起こるたびに再認識されています。

災害はいつ起こるか分かりません。だからこそ、日頃から、当事者・地域・福祉専門職が連携した関係づくりをすることが大切です。」と説明がありました。





参加者からは、「「ご近所力」の必要性・重要性が明確になり、更に活動を活性化していきたいと思った」「地域のつながりは防災のみでなく健康で幸福な社会にもつながる」といった感想がありました。

※市では「流山市地域支え合い活動」として自治会と協定を結び、災害時の要支援者の名簿を提供しています。まだ協定を結んでいない自治会の皆様には、取り組みへのご理解とご協力をお願いします。